

地域おこし協力隊の活動日誌

地域の新しい活力をめざして



地域おこし協力隊員の活動をお伝えするこのコーナー。
今回はスポーツ観光部門で活動する隊員のうち、広報班と農業班の活動を紹介します。

試合や地域活動を伝える 広報班の新聞づくり

ヴィアマテラス宮崎に所属する隊員のうち、有馬りこ隊員、福丸智子隊員、倉谷也海隊員、松野梨那隊員、松田佑也隊員の5名が広報班に所属しています。

自分たちの活動を伝えるため、日々のSNS発信に加えて、「いっちゃんが新聞」いっちゃんがこども新聞」を、それぞれ月1回発行。試合の予定や結果、ホームタウン活動について掲載しています。ホームタウン活動とは、地域に根ざした社会貢献活動を指し、サッカーを通じて地域活

性を目指すものです。隊員は、町内外の保育園や小中学校でのサッカー教室の実施、イベント出店などを通じた地域住民との交流、啓発活動への参加などを行っています。

これらの活動報告に加え、町内の小中学校に配布している「いっちゃんこども新聞」には、『今日は何の日?』『SDGsクイズ』といった、子どもたちの興味を引くようなコーナーを用意。また、漢字にふりがなを付けたり、イラストを入れたりして、読みやすい紙面を心がけています。



子どもから大人まで、幅広い世代に読まれることを目指し、毎月手書きで作成している「いっちゃんが新聞」と「いっちゃんがこども新聞」。お手元に届いたら、ぜひ読んでみてください。



目標は試合での野菜販売 農業班の苗植え

農業班の井元綾花隊員と村上すず隊員は、大洲地区にあるオフィス敷地内の農園を管理しています。

農業は未経験ながら、ノウハウを教わるため、これまで何度も地元農家の畑へ通ってきた両隊員。土づくりや肥料のアドバイスをいただきながら、12月初旬に白菜とキャベツの苗を植えることができました。無事に成長し野菜を収穫することができたら、ヴィアマテラス宮崎の試合会場で販売したいと考えています。

今後も地元農家との交流を図り、お力添えをいただきながら、循環型プロジェクトとして栽培から販売までを自分たちで行えるよう、活動を継続していきます。



今後も町中で協力隊の姿を見かけることがあるかと思えます。ぜひ気軽に声をおかけください。
(文・地域おこし協力隊 二川)

